

令和5年度 児童発達支援・放課後等デイサービス 評価表 【事業者向け】

公表：令和6年3月1日

多機能型事業所 てとて(児童発達支援・放課後等デイサービス)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	対策等
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7			・より良い活動を提供したいと思うとホールなどは、もう少し広いスペースが欲しい。	
	②	職員の配置数は適切であるか	7			・余裕はあるが、より手厚い支援や余裕をもって業務出来るように増員したい。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	4		3	・バリアフリー化はされていない箇所がある。利用児童の成長を促すために必要なバリアフリーはした方がよい。 ・より構造化(見直しを含め)できる部分があると思うので、日々の中で改善していきたい。 ・玄関には、階段がある。	・玄関については、手すりなどは今後考えていきたい。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	7			・1対1での関わりが必要なお子様には、個室の提供やパーティションで仕切る配慮を行っている。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	7			・業務分担を行っている。 ・計画作成→月目標設定→実践→評価→更新の流れはできている。 ・より細かく子どもの振り返りや評価を行いたい、時間の確保が難しい。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7			・業務改善に繋がっている。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7			・支援内容を見直すなど、より質の高い支援を行えるように対応することができた。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	3	1	・第三者評価は行っていない。 ・わからない。	・第三者評価は行っていない。必要に応じて外部評価を取り入れていきたい。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7			・年間計画に沿って、社内や社外研修を受けたり実施してきたりした。また、今年度より事例検討会を開催し、3事業所で意見交換を行っている。	
適切な 支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	7				
	⑪	子ども達の適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6		1	・アセスメント内容の見直しを行い、必要な情報の聞き取りができるように工夫してきた。	・必要に応じてアセスメントツールの見直しを行っていく。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6		1		・特に新人の職員は、個別支援計画の内容についてわからないことがあるため、改めて全体へ周知していく必要がある。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7				
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6		1		・新人の職員への周知を行ってほしい。
	⑮	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	7			・繰り返しの支援の中で、飽きが来ないような工夫を行っている。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成しているか	7				
	⑰	支援開始前に職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7			・打ち合わせの内容で、口答のみではなく、実際に現場を見て伝える事で思い込みや受取方の違いが減ると思うので気をつけたい。 ・リードの職員が毎回丁寧に活動内容や役割を伝えてくれるので大変助かる。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7			・反省は、翌日の午前中の打ち合わせの中で行っている。 ・新しい職員も発言しやすい雰囲気の中で打ち合わせができるよう職員間で意識したい。 ・翌日の反省以外にも、疑問や気づいたこと等は、都度確認できる体制がとれていると思います。 ・その日の気になった点は、その都度伝えるように意識した。	
⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7			・特定の職員が気付いた時に記録を取る場面が多いので、声を掛け合いながら全体で意識していきたい。 ・役割分担をすることで、以前に比べて詳しく記録をとることができるようになった。		

	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	7				
関係機関や保護者連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	2			・管理者、児発管が対応している。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	6	1			・主に管理者が対応している。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害の子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか					・該当しません
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害の子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか					・該当しません
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7				・可能な限り、移行後の情報提供を行ってきた。 ・管理者、児発管が対応している。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6	1			・可能な限り、移行後の情報提供を行ってきた。 ・小学校への移行支援は行えていないが、支援センターへの移行支援や引っ越し先で療育を受ける場合の情報提供は都度行えている。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	1			・連携や研修会には、積極的に参加している。 ・他事業所との連携は、可能な限り行っている。また、センターが主催の研修にも参加してきた。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6	1			・定期的に交流する機会は作れていないが、8月にイベントを開催し、施設外の子どもとも交流できる場を設けることはできた。
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	3	3	1		・開催がない。 ・ケース会議が開催された際には、積極的に参加するようになってきた。
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7				・送迎時や連絡ノートを通して伝えるようにしている。 ・送迎時以外にも連絡ノートやLINE、電話など、定期的に相談支援を行い、共通理解を図っている。
㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	4		3		・親子通所にて、支援員が子どもとの関わり方を実践してみたり、支援のポイントやねらいを知らせたりして家族支援を行ってきました。	
保護者への説明責任等	㉜	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	1			・契約は、2時間程度かけて資料を基に丁寧に説明を行ってきたが、現場を知らないスタッフからは見えていないところなので契約に同席させるなどして、理解を深めていきたい。
	㉝	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	7				
	㉞	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7				・年長児に対しては、就学前相談を行い、助言している。 ・事業所内相談支援の他、LINEや連絡ノートを用いて、相談にのってきた。(主に、児発管や正職員が対応している)
	㉟	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	2	4		・親子通所にて、その役割を果たしているが、利用数が少ない。 ・親子通所にて、保護者同士交流できる場を設けている。
	㊱	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	1			・相談の申し入れがあった場合には、速やかに日程調整を行い、相談支援を行わせて頂いております。
	㊲	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	1			・ブログにて発信している。 ・契約時に重要事項説明書の説明や変更があった際には、ブログでの連絡などを行っている。 ・職員への周知をしていく。
	㊳	個人情報の取扱いに十分注意しているか	7				
	㊴	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7				
	㊵	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	2			・8月に、イベントを開催し、地域住民との交流の場を設けることができた。 ・8月にイベントを開催し、地域住民など様々な方々との交流ができる場を設けることができた。

非常時等の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、発生を想定した訓練が実施しているか	6	1			・全職員へ細かく周知していきます。
	④2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行っているか	7				
	④3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	6	1			・契約時に聞き取ったり、フェイスシートに記載して頂くようにしたりしています。
	④4	食物アレルギーのある子どもについて医師の指示書に基づく対応がされているか	6	1		・医師の指示がないと、食物アレルギーのお子様へのおやつ提供はしていない。	・基本的に食物アレルギーのあるお子様へは、おやつを提供しておりません。アレルギーのあるお子様は、おやつを持参して個人のスペース等にて、食べて頂いております。
	④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	1		・事例集の作成はないが、打ち合わせで必ず確認して注意喚起している。	・必ずヒヤリハットの確認をするようにし、事務日誌に記入することを徹底します。また、全スタッフが把握できるようにしていきます。
	④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7			・虐待研修のほか、虐待防止委員会を開催し、虐待を防ぐための工夫を行っている。	
	④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	5	2		・身体的拘束についての研修の他、身体的拘束適正化委員会を虐待防止委員会に合わせて行っている。	・身体拘束適正化についての事業所マニュアルの読み合わせや研修を実施してきたが、把握できていない職員もいるため、次年度はより細かい内容の研修を実施していきたい。